

## 松江市立図書館について

## 1. 松江市立図書館（現 中央図書館）の歴史と開設の経過

第三次総合計画(昭和 57 年 7 月策定)

最重点施策・・教育文化を中心とした福祉向上

昭和 57 年度までは「くにびき国体」を中心とした都市基盤整備に重点を置き、その後は教育文化を中心とした市民福祉向上を最重点課題とする

背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化施設が県庁周辺の橋北に偏在しているという声の高まり</li> <li>○市議会における図書館建設要望</li> <li>→情報化社会において、市民が自由に気軽に使用でき、知る権利・学ぶ権利・生涯学習の機会を提供する施設として、市民の図書館を建設する</li> </ul>
建設候補地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○四中跡地・・用地買収不要、最有力候補</li> <li>○片倉跡地</li> <li>○松江郵便局移転予定跡地(現スティックビル)</li> </ul>
図書館変遷	<p>明治 32 年 木幡久右衛門等により母衣町に私立松江図書館が創設</p> <p>明治 33 年 松江城三の丸に新館舎を建設</p> <p>大正 8 年 松江市に寄付移管され、松江市立図書館として発足(9317 冊)</p> <p>昭和 21 年 運営上の理由により松江市から県に移譲</p> <p>昭和 43 年 島根県立図書館現行館開館</p> <p>昭和 44 年 松江市青年センター完成 地上 3 階・地下 1 階 敷地面積約 1500 m<sup>2</sup> (体育館・研究室・会議室・視聴覚ライブラリー)</p> <p>昭和 50 年 蔵書 2400 冊の児童図書室を併設</p> <p>昭和 61 年 総合文化センターの完成とともに閉室・移管</p>
建設理念	<p>～松江市国際文化観光都市建設法に基づく理想像の実現～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薫り高い文化の創造に役立つ都市</li> <li>・住む人訪れる人々の幸せを生み出すまち</li> </ul>
図書館概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般教養レベルの蔵書(県立図書館、大学図書館との差別化)</li> <li>・・・分かりやすくなじみやすい、市民が利用しやすいもの</li> <li>○蔵書は開館当初 5 万冊、将来的に 20 万冊を目指す</li> <li>・・・20 万人都市を目指し、1 人 1 冊</li> <li>○電算システムによる図書管理(県立図書館に先駆けたシステム導入)</li> <li>○郷土資料の特徴化(松江の資料、小泉八雲資料の充実)</li> <li>○移動図書館にも対応できるもの(車庫や倉庫を想定した設計)</li> <li>○公民館図書室、学校図書館との連携</li> </ul>
文化施設 全体概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の象徴に値する近代的な文化の殿堂としてふさわしい建物</li> <li>・芸術的表現に満ち、郷土の歴史風土をモチーフにしたもの</li> <li>・松江市の伝統的な都市環境に調和したもの</li> <li>・できるだけ空地进行を設け、植栽を多くする</li> <li>○駐輪場を十分確保し、駐車場は施設関係者を対象とした程度とする</li> </ul>

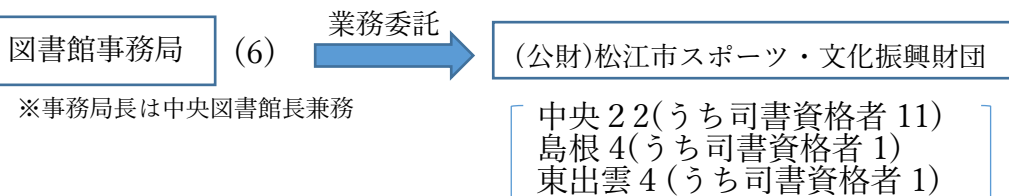
## 2. 現状と課題

### (1) 施設概要 【図書館要覧 P.4】

館名	開館年	形態	床面積	駐車場	施設・設備
中央図書館	S61	複合 (音楽ホール)	1,760 m <sup>2</sup>	117 台 (30分無料)	開架、閉架、八雲資料室、ラビックの部屋、OPAC5台、インターネット接続PC4台、拡大読書器 (別に館外書庫あり(鹿島町))
移動図書館	H20	-	(3tトラック)	-	収容冊数 2,000 冊
島根図書館	H20	複合 (公民館)	335 m <sup>2</sup>	59 台 (無料)	開架、閉架、OPAC1台、インターネット接続PC2台
東出雲図書館	S60	複合 (公民館)	160 m <sup>2</sup>	15 台 (無料)	開架、閉架、OPAC1台、インターネット接続PC1台

### (2) 運営組織 (数字は職員数) 【図書館要覧 P.5】

図書館長 (中央 1、島根 1、東出雲 1)



学校図書館支援センター (1)

(3) 蔵書の状況 【図書館要覧 P. 11～17】

※数値は平成30年度末

館名	蔵書冊数(冊)	内訳		
		図書資料	雑誌	AVソフト
中央図書館	415,456	395,684	18,637	1,135
移動図書館	16,269	16,242	27	0
島根図書館	24,318	23,006	1,131	181
東出雲図書館	29,054	28,160	849	45
計	485,097 [うち録音 856 大活字 1,870 点字 209]	463,092 [うち録音 856 大活字 1,870 点字 175]	20,644 (うち点字 34)	1,361

(4) 利用状況 【図書館要覧 P. 18～28】

※数値は平成30年度

館名	貸出冊数(冊)	利用者数(人)	来館者数(人)
中央図書館	497,607	93,535	276,568
移動図書館	60,198	3,043	-
島根図書館	18,462	3,613	-
東出雲図書館	53,607	10,286	-
計	629,874 [うち録音 不明 大活字 2,108 点字 28]	110,477	-

(5) 図書館サービス（主なもの） 【図書館要覧 P.29～32】

※数値は H30 年度実績

- ① 中央図書館
  - ・配本事業（幼稚園、保育園、児童クラブ、公民館等 59 箇所 延 34,590 冊）
  - ・移動図書館車の巡回（市立図書館、県立図書館から概ね 5km 以上の施設を巡回 月 20 コース 92 団体） 【資料 2-1】
  - ・読書普及活動（館内での絵本の読み聞かせ・ストーリーテリング、4 か月児健診会場での啓発、おはなし給食（学校給食課と連携）、個人向け絵本セット「こそだてえんむすびぶっく」の貸出 等）
  - ・定期講座の開催（「古文書をよむ会」、「小泉八雲に学び・親しむ」、「語り手のための講座」 等）
  - ・おはなし出前（市内幼稚園、小学校等にストーリーテリング語り手を派遣 367 回 延 917 名派遣）
  - ・職場体験、インターンシップ等受け入れ
  - ・企画展示
  - ・イベント開催（よるの図書館、本の福袋 等）
- ② 島根図書館
  - ・企画展示
  - ・本のリサイクル市
  - ・読書普及活動（「よるの図書館 in しまね」、おはなし会、図書館クイズ 等）
  - ・工作企画
- ③ 東出雲図書館
  - ・企画展示
  - ・読書普及活動（おはなし会、幼稚園へ親子読書用図書貸出 等）
  - ・工作企画、図書館クイズ

(6) 課題

- ① 駐車場の無料時間が短い（中央館）
- ② プラバ行事と重なったときの駐車場不足（中央館）
- ③ 他の類似中核市、県内他市と比較し 1 人あたりの貸出数が少ない
- ④ 学習スペースの不足
- ⑤ 児童コーナーと一般コーナーが混在
- ⑥ 蔵書スペース不足

### 3. 他自治体との比較

(1) 類似中核市で比較 【資料2-2】

(2) 県内8市及び鳥取市、米子市で比較 【資料2-3】

### 4. 市内図書資源と他館とのネットワーク

(1) 市内図書資源 【資料2-4】

(2) 他館とのネットワーク

#### ①相互貸借

①-1 全国の公立図書館、大学図書館と相互貸借を実施

※図書館法第3条第1項において、他の図書館と図書館資料の相互貸借を行うことの規定あり。

※中国地区公共図書館相互貸借規程第1条において、中国地区各公共図書館は、図書館法第3条第1項にのっとり図書館資料の相互貸借を行うことの規定あり。

※島根大学図書館及び松江工業高等専門学校図書館とは、各々個別に協定を結び、図書館資料の相互貸借について協力することとしている。

#### ①-2 H30 年度実績

館名	借受件数		貸出件数	
中央図書館	県内	県立図書館	83	621
		県内公共図書館	300	
		県内大学図書館等	56	
	県外	中国地区公共図書館	205	24
		中国地区外公共図書館	4	
		県外大学図書館等	0	
計		648	645	
島根図書館	県内	1	10	
	県外	0	1	
	計	1	11	
東出雲図書館	県内	108	26	
	県外	2	0	
	計	110	26	

## ②学校図書館との連携

- ・市立小中学校図書館と市立図書館（3館）は、資料の配送を行うシステム（物流ネットワークシステム）を構築しており、各館の蔵書を相互活用（市立図書館と学校間、学校間どうし）している。
- ・学校図書館支援センターのスタッフのうち1名が、中央図書館に常駐し、学校と市立図書館間の蔵書の相互活用他の支援を行っている。